

『市長と語る会』を開催

意見交換の場として

新たな歩み進める

『市長と語る会』に先立ち9月1日、定例の委員会を開催しました。委員会では、再度、市長と語る会の進め方を確認し9月5日の当日を迎えることとなりました。

『市長と語る会』には協議会委員も含め、32名の地域のみなさんにお集まりいただきました。会を始めるにあたり、協議会の新倉会長が「前年までは自治会連合会の主体で行われておりましたが、今年からはテーマ別のディスカッションというこ

ことで、事前に全体的な問題を提起した上で、ご意見を頂くといったこととなります。この地域でどのような思いを持っているか（行政のみなさんに）聞いて帰って頂ければありがたいと思っています」とあいさつし、会がスタートしました。

小和田地区の交通安全 継続的に話し合い進める

意見交換の進行は香山委員に務めていただきました。まずは、

各団体から事前に寄せられていた地域の要望や状況について簡単に説明をしたのち、事前に決めた3つのテーマについて意見交換を行いました。

交通安全のテーマの中で意見が多かったのは東小和田交差点をはじめとした交差点や歩道の安全についてです。自転車や歩行者、また高齢者や子どもを持つ親などさまざまな立場から信号待ちのスペースの拡張や歩道橋化、左折レーン設置での渋滞解消などさまざまな意見が出されました。協議会としても、地域の最重要課題として、この交通安全の問題に継続的に行政や関係団体と連携し取り組んでいきたいと思えます。

会の最後には、服部市長からそれぞれのテーマについて総評や感想をいただきました。「まちぢから協議会で課題認識や解決に向けた取り組みが進んでいることをしっかりと実感しています。行政も地域担当職員を窓口に、各担当が現場に足を運び、意見交換をさせていただくことを大事にしていきたいと思っています」と述べられました。

新たな手法で開催したこの取り組みが、地域課題の継続的な検討の第一歩になったのではと感じています。

27年度9月委員会の主な議事内容

○「市長と語る会」の最終確認について

司会や受付などの挨拶の担当や議事の進め方について最終的な確認をした。

○部会からの報告について

〈おひさま YU-ZU ルーム部会〉

8月15日と29日に部会を開催。レイアウトについては概ね決定したが、施設の管理運営を行う社団法人の設立について課題が残っている旨の説明があった。



小和田地区『市長と語る会』を開催しました！



9月5日に小和田地区コミュニティセンターで『市長と語る会』を開催しました。会場には協議会委員も含め、32名の地域のみなさんが参加し、地域の課題について話し合いをしました。事前に地域の各団体から寄せられた要望の回答については、自治会などの各団体へお問い合わせください。

小和田地区まちぢから協議会